

只見町  
名誉町民

日比野五郎 萬葉百首

第二回企画展

生誕百年

# 皆川雅舟展

只見が生んだ  
渾朴の書人



2023年  
7月11日(火)~10月9日(月)(祝)

主催：ただみ・モノとくらしのミュージアム

協力：皆川恭舟（墨雅書道会会長）

後援：（一財）毎日書道会、福島民報社、福島民友新聞社



自用印「雅舟」 高野泰岳刻

# GASTRICK



ただみ・モノとくらしのミュージアム  
〒968-0602 福島県南会津郡只見町大倉字窪田30  
TEL.0241-86-2175  
E-mail: mono\_kurashi\_museum@hyper.ocn.ne.jp

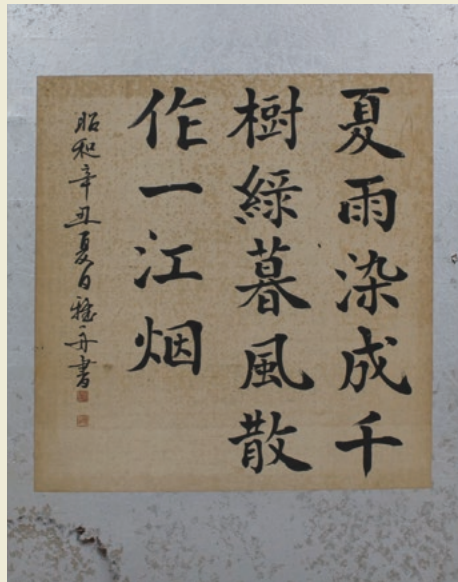
〈ご利用案内〉

開館時間 9:30~17:00 (入館は16:30まで)  
休館日 月曜日 (祝日の場合は翌平日)  
年末年始 (12月29日~1月3日)

入館無料



▲秋聲入黄葉



▲夏雨染成千樹緑



▲壽雲

美術評論家の田宮文平は、皆川雅舟の書を「渾朴の書」と評した（渾朴の書空間「墨」一〇三号、一九九三年）。  
 『渾朴』とは、『中日大辞典』には、「素朴・朴実」とあり、人為なく自然でありのままの素朴な性質という意味である。

「渾朴」の書



▲奥の細道



皆川雅舟(政一郎)

1923年（大正12）現在の福島県只見町田子倉に生まれる。

幼少より書を好み、競書雑誌等で研鑽。

1955年（昭和30）田子倉ダム建設により、郡山市に移住。

1960年（昭和35）中平南谿の門に入り、以後本格的に書技を練る。

1964年（昭和39）日展初出品で初入選、以後計3回入選。

1972年（昭和47）「墨雅会」を組織し、書道誌『墨雅』を発刊、後進を育成し書道を普及する。

1984年（昭和59）毎日書道会審査会員となる。翌年、全東北書道連合「六友会」を結成、初代会長となって東北の書道界をまとめ、毎日書道展の発展と東北の書道振興に貢献する。

只見町名誉町民、郡山市文化功労賞、福島県文化功労賞、地域文化功労者文部科学大臣賞表彰。2011年（平成23）没、88歳。



公共交通機関でのアクセス

- 会津鉄道・会津田島駅から  
定期路線ワゴン「自然首都・只見号」（11：05、15：00発）  
「ただみ・モノとくらしのミュージアム前」下車（乗車60分）
- JR只見線・只見駅から  
定期路線ワゴン「自然首都・只見号」（9：10、13：10発）  
「ただみ・モノとくらしのミュージアム前」下車（乗車20分）

※運行時刻は2022年10月1日現在の情報です。最新の時刻表をご確認ください。

お車でのアクセス

- 東北自動車道・白河ICから88km、約1時間45分
- 東北自動車道・西那須野塩原ICから92km、約1時間50分
- 関越自動車道・小出ICから75km、約1時間50分（冬期間通行止）
- 磐越自動車道・会津坂下ICから81km、約1時間45分  
駐車場 20台 ※大型バス等は要事前予約